

先人の思いをつなぐ一野球検診の意義

①未来を担う利他心ある人づくり

②夢を実現するネットワークづくり

社会活動

- ◆ 47共育塾(千葉市) 整骨院+学習&スポーツ塾
- ◆ NPO法人ファイアーレッズ(さいたま市・浦和学院高校)

医療機関

- ◆ なかざわスポーツクリニック(青森県八戸市)
- ◆ 横浜総合病院(横浜市)
- ◆ 山梨リハビリテーション病院(山梨県笛吹市)
- ◆ 北水会記念病院(茨城県水戸市)

NPO法人野球共育塾・理事長 <http://bbkyouikujujyuku.moon.bindcloud.jp/>

47共育塾千葉・代表 <https://www.47kyouikujuku.com>

能勢康史 yasushi.nose@gmail.com

野球チーム

- ◆ 東北福祉大学(仙台市)
- ◆ 上武大学(群馬県伊勢崎市)
- ◆ 東日本国際大学(福島県いわき市)
- ◆ 花巻東高校(岩手県花巻市)
- ◆ 明秀日立高校(茨城県日立市)
- ◆ 横浜市立横浜商業高校(横浜市)

人生を振り返り、次世代に恩を送る

1962年11月24日生まれ62歳 千葉市在住

1986～89年 千葉県公立学校教諭柏養護

1991年 野球 29歳 33年間 16チーム

高校9、大学5、社会人2

全国大会出場経験 2024年8月時点

社会人2チーム10回 優勝1回2004年42歳

大学4校17回 優勝1回2019年

高校7校27回

プロ野球選手支配下 約80名・ドラフト1位12名

2006年 医療 44歳 18年間 8施設

2013年 NPO法人野球共育塾 検診普及

2015年 能勢塾（下宿）53歳

◆理念 社会課題の解決

①利他心ある人づくり

②社会課題解決のネットワークづくり

◆活動

①47共育塾千葉 2023年4月 60歳

★理念・技術・経営を学び各地で開業

・学習&スポーツ(野球)塾

・整骨院 コンディショニング

②スポーツによる人街づくり 2024年 61歳

・みんなの居場所

・青少年支援 学費などの支援

・指導者育成 学童・中学

・指導者・経営者共育塾 学校企業連携

野球検診の目的

「野球人と医療人」が連携し、子どもの未来を本気で考え行動する場をつくる

野球検診を通じて

- ① 野球現場と医療機関のネットワーク
- ② 安心できる野球の活動環境づくり

互いに尊重し子どものために動く人づくり

野球肘検診の歴史

1981年，徳島で県下全選手を対象として開始
現在まで43年間，継続して実施されています。



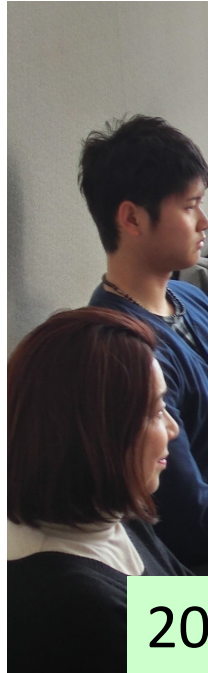
岩瀬毅信医師



柏口新二医師

検診普及のイベント 20013年花巻から開始

野球人と医療人の出会いの場



20

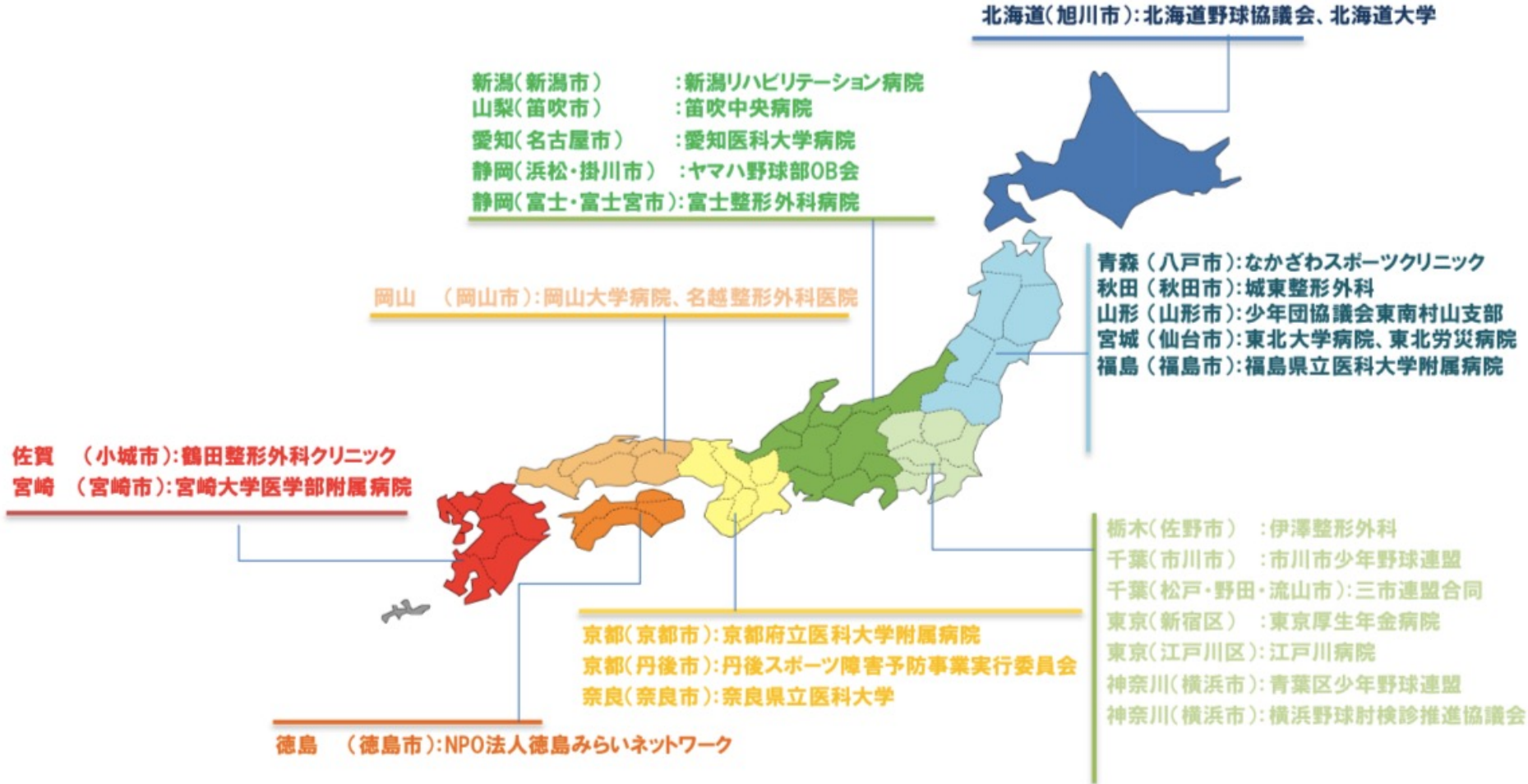


思いのある人との縁で実現

エロから検診を行なう医師の心から来り

検診が
が素
に検

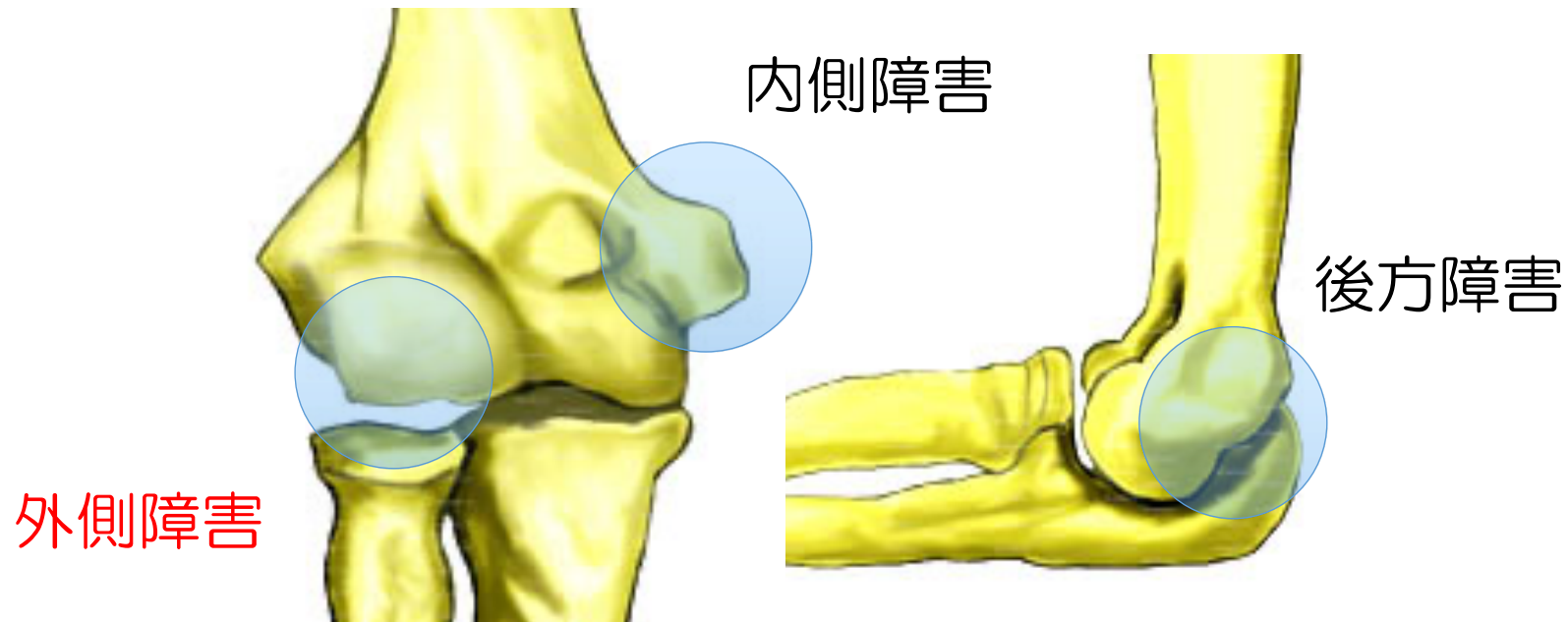
〔全国野球肘検診の一覧〕 ※H29.9現在



野球肘とは？

投球動作が原因で、肘に痛みや機能障害をきたした状態の総称

岩瀬毅信ほか 1983



野球肘検診の意義

肘外側に発症する肘離断性骨軟骨炎（病気）を無症状で治癒能力の高い発症初期*に発見すること。

*初期発症例の平均年齢：11歳2か月（小学5～6年生）

発症は小5・6年選手の2%、初期では90%が修復。初期は症状がないため検診で発見しないと分からない。

安心してプレーするために検診を受ける

離断性骨軟骨炎の悪化過程

初期(発生)

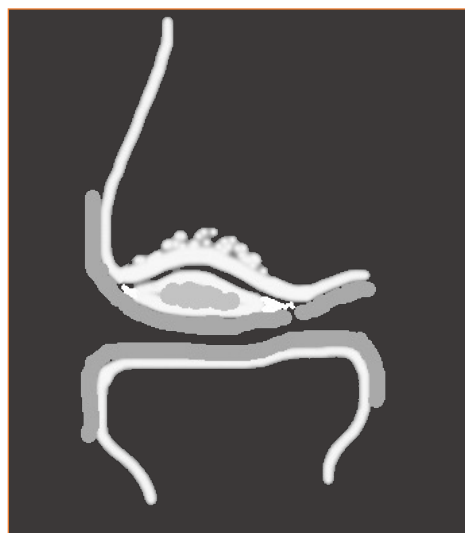
(11歳前後に発生)



症状がない

分離期(発症)

(1-2年後)



分離期になると
時々痛む
曲げ伸ばしが制限

遊離期

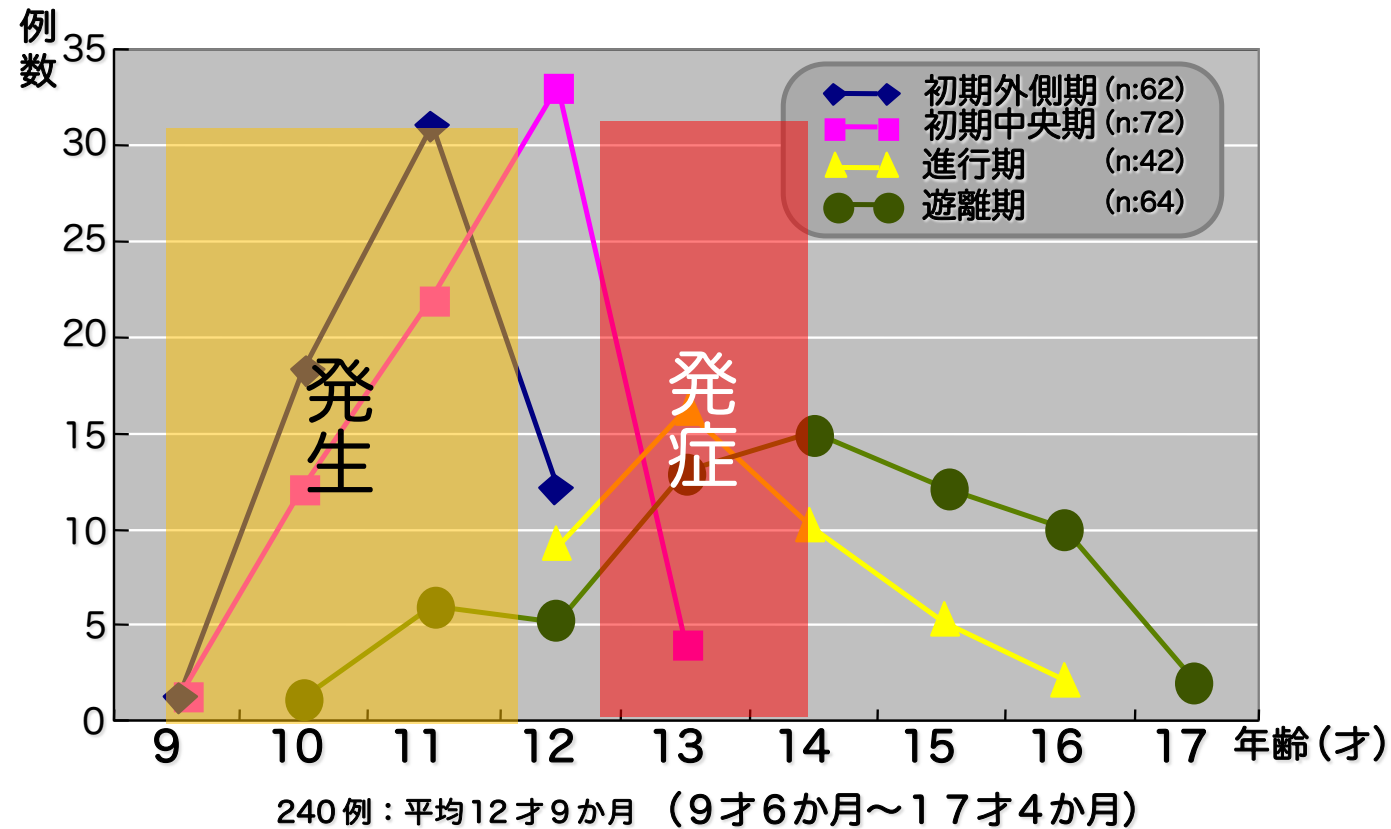
(2-3年後)



関節ネズミができる頃
には症状は強くなり、
関節症変化が現れる

離断性骨軟骨炎の病期と発見年齢

痛みが出て病院を受診した時点では手術が必要



肘離断性骨軟骨炎の病期と発見法

病院で発見 vs 検診で発見

	初期	分離期	遊離期
検診群 99名	94名 94.9%	3名 3.1%	2名 2.0%
病院群 206名	62名 30.1%	54名 26.2%	90名 43.7%

徳島大学の調査 1991年

痛みが出て病院に行く頃には手遅れ！

投球げる機会が多いと発生するか？

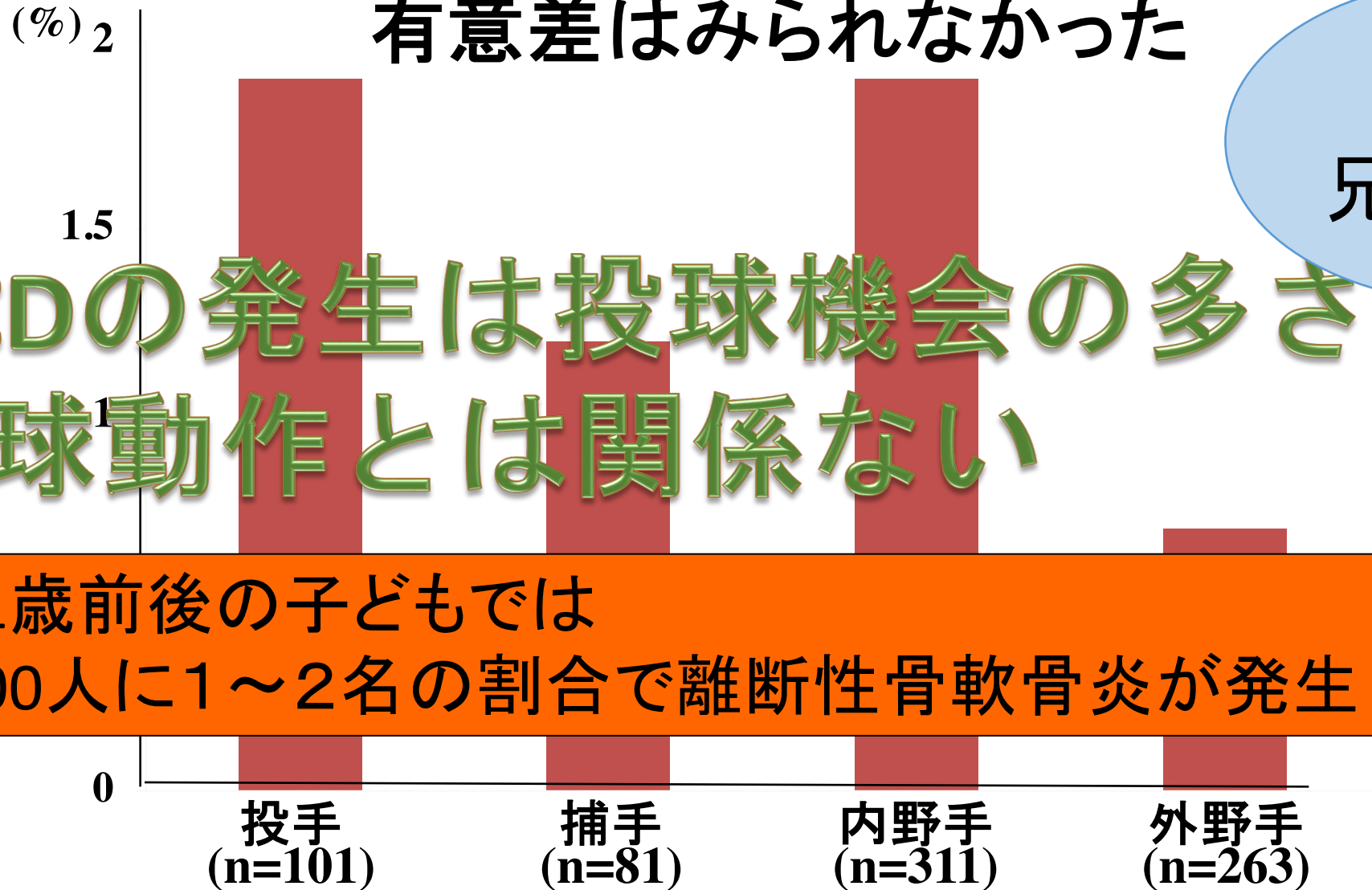
2011年度に小頭障害を認めなかった756名を1年後に調査

有意差はみられなかった

遺伝
兄弟発生

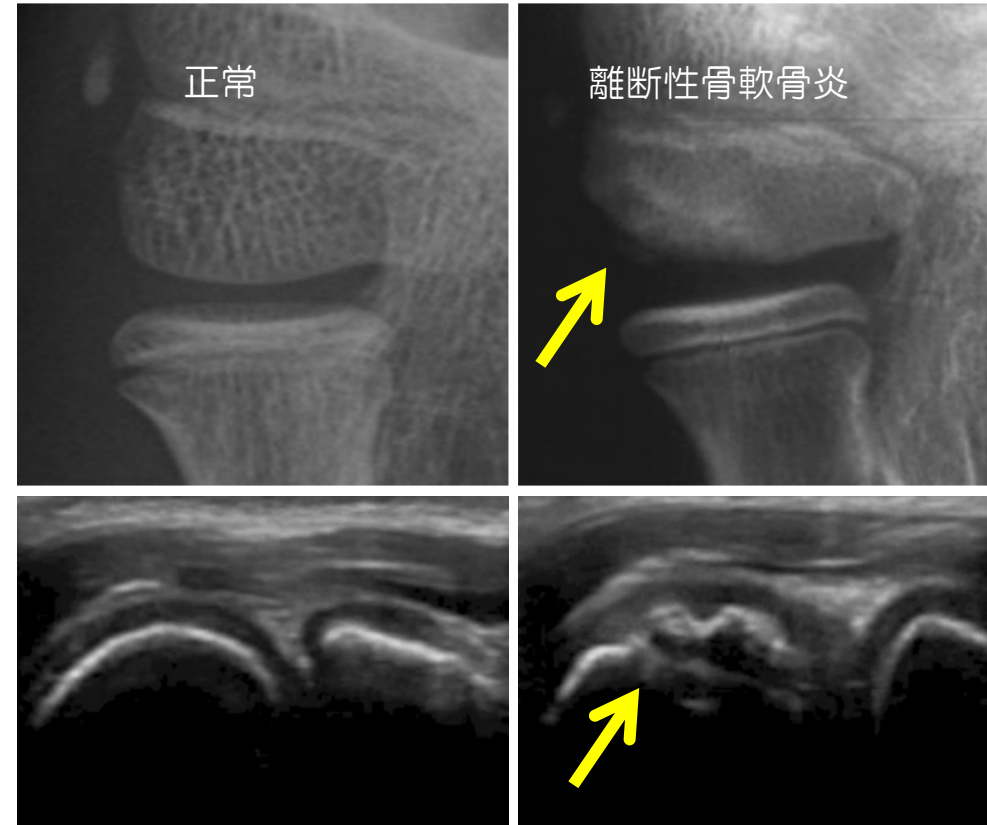
OCDの発生は投球機会の多さ
投球動作とは関係ない

11歳前後の子どもでは
100人に1～2名の割合で離断性骨軟骨炎が発生



超音波検査で野球肘を診断

2006年，徳島で大会会場での超音波検査開始



病院に行かなくても野球肘が診断できます。

離断性骨軟骨炎の治療方針

◆ 医師（医療機関）により治療方針は異なる

慎重派：症状無くても画像治るまで運動制限

積極派：症状無ければ運動許可

8割は運動制限群で治る。治るまでに1～2年かかる

1割は運動制限しても治らない

1割は運動制限無しでも治る

鏡視下手術の普及により野球への復帰は飛躍的に向上

骨端線閉鎖前の手術は行わない

医学より哲学 子どもの今と未来

野球選手の成長過程

- ◆導入期(小学生):楽しさの原体験
 - 軌道イメージづくり・ボールの握り替え
- ◆基本期(中学生):体の使い方の学習
 - 正しい野球動作の基本運動
 - 中学2年生が強化の分岐点
- ◆発展期(高校生):技術・体力の強化
 - 反復練習に耐える体力づくり
- ◆完成期(大学以降):技術・戦術の習得
 - 飛躍時期(25歳)に向けた練習の積み重ね